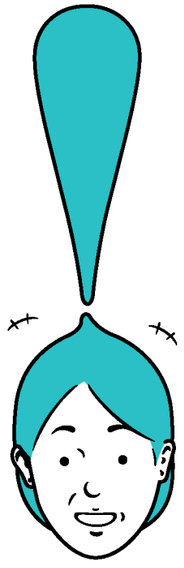
早期の大腸がんで、がんが粘膜の中にとどまっている状態だと、多くの場合、おなかを切る外科手術ではなく、内視鏡による切除治療が可能です。がんの大きさが 2cm 以上、または、内視鏡で切除しにくい場所にある時は、おなかを切る外科手術を行います。なお、内視鏡や外科手術で切除したがんの組織を顕微鏡で調べる病理組織検査を行い、リンパ節へ転移している可能性がある場合は、追加手術を行うこともあります。

大腸がんの治療費は、基本的に保険が適用されますので、3割負担なら、高額療養費制度を使えば、1ヵ月の支払いは、標準的な収入の方であれば、4〜8万円程度です。



MEMO